

令和7(2025)年度 看護学科 一般入学試験 (国語)

受験番号	氏名

受験上の注意

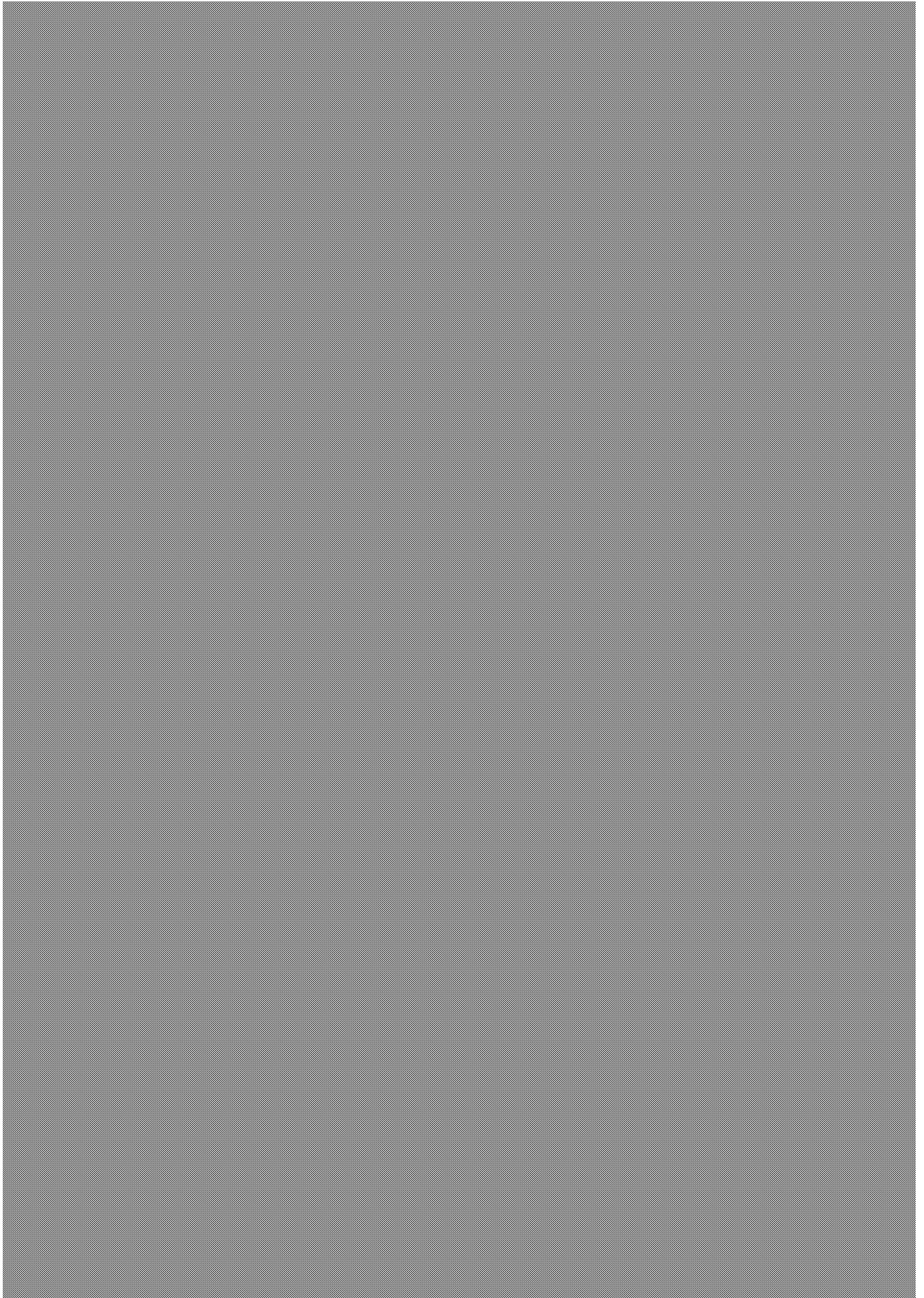
- 問題文は10ページあります。解答はすべて答案用紙の所定欄にマークしてください。
- この問題冊子は指示があるまで開かないでください。
- 試験終了後は、答案用紙と一緒に回収します。

答案用紙記入上の注意

- 筆記用具の使用は、HB、B、2Bの鉛筆及びシャープペンシルのみで、ボールペン、万年筆、水性ペンなどは使用できません。
- 書き間違えたときは、プラスチック製消しゴムで消してから、新しい答えをマークして下さい。
- 氏名の記入は、漢字氏名の欄及びカタカナ氏名の欄に、楷書で丁寧に記入して下さい。
受験番号の記入は、受験番号を番号欄に記入し、その下の該当する数字を●マークして下さい。
答えの記入は、問題の選択肢から一つ選んで、該当するa～eの記号を●マークして下さい。
- 「解答番号 1」の問題の解答は、答案用紙の「問題」欄の「1」の解答欄にマークして下さい。
- メモ書きは問題冊子の余白を利用し、答案用紙を汚したり、折り曲げたりしないで下さい。

試験名	看護一般 国語				
フリガナ	カナガワ	ハルカ			
氏名	神奈川 春香				
問題	解 答 欄				
1	a	●	c	d	e
2	a	b	c	●	e

番号	1 0 0 5 6									
万	①	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
千	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
百	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
拾	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
号	①	①	②	③	④	●	⑦	⑧	⑨	⑩
問題	解 答 欄									
26	●	b	c	d	e					
27	a	b	●	d	e					



一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

Ⓐ 「身体から入る」について考えてみたい。

いま学力の低下が問題視されているが、現在の多くの日本の子どもたちにとって、学ぶことは義務的、強制的なものとなってしまった。勉強は自分たちでやるものではなく、押しつけられてやるものだと、子どもたちも親も思っている。だが、国民が自分から進んで学ぶ心を失った国の将来は暗い。かつて抜きん出て高い識字率を誇り、みんなが勉強したくてたまらない時代があったというのに、いったいどうしたことだろう。

実は、かつての日本人の高い学習意欲をⒶ「コンテイ」から支えていたのは、「身体から入る」という学びのアプローチにあった。

私の経験を踏まえて言うと、小学生の（A）でもっとも重要なことは、まず机の前に座って勉強する習慣をつけさせることだ。勉強の内容はさておき、学ぶ構えを身につけることが最優先事項だ。学ぶ構えが身体になれば、集中力は発揮できないし、いつまで経っても勉強への持続力というものが形成されない。

しばしば誤解されやすいことなのだが、勉強とは精神的な行為である以前に、まず身体的な行為だ。（1）、長時間集中できるような身体的な構えをひとたび身につければ、それは仕事をはじめ、いろいろなことに応用できる強力な技となる。

かつての日本人は、学ぶ構えを身体に染みこませることの重要性を、極めてよく理解していた。その実例を、杉本鉞子という明治の女性が書いた『武士の娘』という本から引用してみよう。杉本は一八七三年に越後の長岡藩の家老である稲垣家に生まれ、後に渡米してコロンビア大学で日本文化史の講義をしていたこともある。杉本は学校に入る前から、武士の娘として厳しい躰を受けている。彼女がまだ六つの時の話である。①

「お稽古の二時間のあいだ、お師匠さまは手と唇を動かす外は、身動き一つなさいませんでした。私もまた、畳の上に正しく坐ったまま、②ビドウだもゆるされなかつたものでございます」『武士の娘』ちくま文庫

（2）、彼女がほんの少し身体を動かしただけで、「お嬢さま、そんな気持では勉強はできません。お部屋にひきとって、お考えになられた方がよいと存じます」と③先生に叱られる。いまの時代、ここまでの厳しさを求めるのは（B）ではないが、学ぶ時の姿勢を徹底して重視していた点に注目してほしい。

身体の姿勢を調えることで、心のあり方も調えられる。姿勢を直し、呼吸を調えることで長時間の集中は腰から支えられる。そこからはじめて学習内容の指導に入っていくたのである。

そうした身体的な感覚の中でも、とくに腰と肚を中心とした感覚が日本人の自己形成に重要な役割をはたしていたと、私は考えている。私はこれを「腰肚文化」と名づけて提唱してきたが、戦時中の日本に①タイザイしたドイツの哲学者②デュルクハイムは、「肚」が日本人の心身の中心をなすキーワードだと見抜いていた。

「姿勢よく、どつしりと、そして落ち着いて、これが、その意味を正しく受け取っている日本人にとって特徴的で、かつ全体として肚の存在を表現する姿勢の三原則である」『肚
人間の重心』麗澤大学出版会

肚とは、肉体的な意味合いだけではなく、精神的なものも含んでおり、日本では「肚のある人」が社会的に（C）評価を得てきた。デュルクハイムによると「肚のある人」とは、たとえば火事などの非常事態にあっても、落ち着いて何をなすべきか知っている人のことである。③

日本語には腰や肚にまつわる言い回しが多い。（③）「弱腰」。これは肉体的に腰が弱いと言っているわけではなく、精神的な弱さを表している。ほかにも「腰砕け」「逃げ腰」、また「肚を練る」「肚のできた人」といったものがある。日本人はこんな表現を使って、言葉の上でも互いに腰と肚の重要性を教育しあってきた。

下腹部にしっかりと重心をおくことで、心身の安定、ねばり強さが生まれてくる。こうした身体文化の伝統はコンテイで学びの基礎となり、日本人の高い向学心を支えていたのである。

まずは背筋を伸ばしてきちんと座る。（④）、私が『声に出して読みたい日本語』（草思社）で提唱したように、腹から声を出して音読してみる。このいわば寺子屋以来のスタイルを取り戻し身体から入って勉強するようになれば、集中力がぐんぐん高まり、学びに向かう楽しさを身体から取り戻すことができるだろう。

次のキーワードは「氣遣いを育てる日本語」だが、この意味は、なんとなく多くの日本人が日々感じていることではないだろうか。日本人らしい感性、コミュニケーションの仕方は、日本語の⑤コウゾウと大いに関係している。私たちは常に日本語を使ってものを考え他者と関わっている。私たちの物事のとらえ方や対人関係で何を大切にするかという感性は、日本語によって大きな影響を受けている。④

このところ⑥英語の早期教育について議論されている。確かに国際化の時代、英語のコミュニケーション能力の重要性は増すばかりだ。（⑤）、小さな頃から英語を使ってイエス、ノーをはっきり言うことを求められると、日本人のものの考え方にも影響が出てきてしまっているのではないか。

私たちが何気なく使っている日本語とは、⑦大変高度なレベルで周りへの氣遣いを求め

られる言語である。国語学者の金田一春彦は、「お茶が入りました」という表現を例に、日本語に張りついた気遣いの心を④シテキする。

「お茶が入りました。」

(D) 言葉であるが、⑤何と美しい言葉であるか。お茶は自然に入るものではない。亭主のためにお湯を沸かし、土瓶に茶葉を入れて湯を注ぎ、茶碗に注ぐ。そこにちよつとした菓子をそえてから呼びかけるのである。どこかの国ならば、

あなたのために私がお茶を入れたよ

と言いつつ、相手は自分の行為を恩に着せる言い方になって、相手に不快の思いをさせる。(中略)

日本人は人の話を聞く場合、話す人の気持ちを理解しようと思うと聞いています。と同時に、日本人は話す側の人も、相手の気持ちを考え考えしながら話していることになる」(『日本語「新版」』下 岩波新書)

ここには言葉をあまり使わなくても、⑥お互いが気持ちのレベルで通じ合うハイレベルな文化がある。(E) を省くことで、相手に恩着せがましく受け取られるのを避け、できるだけ相手に心的負担をかけないように常に気を遣う。いわば高度な気のネットワークを張り巡らせて、互いの気持ちを慮^{おもんばか}っている。⑦

私たちはさまざまな場面で、そうした気遣いを瞬時に交わしているわけだが、日本人はつきり言葉で言うよりも、言外に含まれた曖昧^{あいまい}さの中にある「⑧」を大切にしてきたのだ。

(出典 『ハイライトで読む美しい日本人』 齋藤孝著 文藝春秋 二〇〇五年 出題のため、一部改変した部分がある。)

問一 傍線部ア～オの漢字と同じ漢字を含むものを、次の語群のa～eの中から、一つずつ選びなさい。

- ア コンテイ 解答番号 1
- a テイシヨクに就く
b トウテイ追いつけない
c 景気がテイメイする
d 講和条約をテイケツする
e 懇切テイネイな指導

- イ ビドウ 解答番号 2
- a 教科書のビコウ欄
b 風邪でビネツがでる
c 棚のビヒンを揃える
d ユウビな舞を鑑賞する
e 犯人をビコウする

- ウ タイザイ 解答番号 3
- a 贈り物をキタイする
b ネットイのような暑さが続く
c チンタイ契約を結ぶ
d オンガクタイの演奏を聴く
e テイタイ前線は雨をもたらす

- エ コウゾウ 解答番号 4
- a タイコウ意識を燃やす
b コウテイ的な意見
c オンコウな性格
d 都市のコウガイに家を建てる
e キョコウの世界

- オ シテキ 解答番号 5
- a 窓にスイテキがつく
b カイテキな空間
c テキシユツ手術を行う
d テキチに赴く
e テキカクな指示を与える

問五 傍線部⑥「先生に叱られる。」とあるが、それはなぜか。当てはまらないものを、次のa～dの中から一つ選びなさい。 解答番号 9

- a 長時間の集中は腰から支えられており、そのため姿勢を正すことが重要と考えたから
- b 身体の姿勢を調えることで、心のあり方も調えられると考えていたから
- c 学習に入るには、まず姿勢を正し、呼吸を整えることが大切と考えていたから
- d 鉞子の行動に対し、武士の娘としての自覚が足りないと感じたから

問六 傍線部⑦「デュルクハイムは、「肚」が日本人の心身の中心をなすキーワードだと見抜いていた。」とあるが、日本人にとっての「肚」とはどのような意味をもつものか。最も適当なものを、次のa～dの中から一つ選びなさい。 解答番号 10

- a 落ち着いて、何をすべきか知っている人のことを示すもの
- b 日本人に取って特徴的な、精神的なものを含んだもの
- c 腰が弱さを表すのに対し、肚は人間の強さをあらわすもの
- d 肉体的に人間の重心であり、身体を支える重要なもの

問七 傍線部⑧「英語の早期教育」が必要とされているのはなぜか。その理由として最も適当なものを、次のa～dの中から一つ選びなさい。 解答番号 11

- a 国際化の時代となり、幼少期より流ちょうな英語での会話が必要となってきたため
- b 日本人は意思表示が苦手であるため、英語で意思表示の訓練を早くから実践するため
- c 英語でのコミュニケーション能力の重要性が増したことの対応策として必要なため
- d 日本人のものの考え方そのものが、国際化によって大きく変化したため

問八 傍線部⑤「大変高度なレベル」とは、何を意味するのか。最も適当なものを、次の a ～ d の中から一つ選びなさい。 解答番号 12

- a できるだけ相手に負担をかけないように配慮がなされていること
- b 短いフレーズで、多くの情報を伝えることができること
- c 相手に自分の感情を悟らせないように工夫されていること
- d 日本人以外の人にも、すぐに理解しやすい言語であること

問九 傍線部⑥「何と美しい言葉であるか」とあるが、美しい言葉の具体例として当てはまらないものを、次の a ～ d の中から一つ選びなさい。 解答番号 13

- a 雨が降りそうですので、この傘をお使いください。
- b 日差しが強いので、木陰で少し休みましょう。
- c 食事の準備ができましたので、頂きましょう。
- d 予定がありました。が、あなたのために参りました。

問十 傍線部⑦「お互いが気持ちのレベルで通じ合うハイレベルな文化」とあるが、その内容として適切でないものを、次の a ～ d の中から一つ選びなさい。 解答番号 14

- a 高度な気のネットワークを張り巡らせて、互いの気持ちを慮っている文化
- b 相手のことを考え、イエス、ノーの意思表示がはっきりとできる文化
- c 話を聞く場合は話す人の気持ちを、話す場合は聞く人の気持ちを考える文化
- d 言外に含まれた曖昧さの中にある「気遣い」を大切にしてきた文化

問十一 「」に入る最も適切な言葉を、次の a ～ d の中から一つ選びなさい。 解答番号 15

- a 言語の本質
- b 信頼関係
- c 気遣い
- d 本当の気持ち

問十二 次の文章は、本文中の①⑤のいずれかに入る。次のa～eの中から一つ選びなさい。 解答番号 16

「肚のない人」は逆にあわてふためいてしまう。

a ①
b ②
c ③
d ④
e ⑤

問十三 本文の内容に一致するものを、次のa～dの中から、一つ選びなさい。 解答番号 17

- a 現代人は、武道で身体を鍛えることで、集中力を養うことが望ましい。
- b 国際化の時代において、これからの日本人には意思表示が必要となる。
- c 腰と肚を重要とする考えも、日本語のしくみも明らかに過去のものである。
- d 身体文化の伝統は心身の安定をもたらし、日本人の向学心を支えていた。

二次の問いに答えなさい。

問一 次のそれぞれのことわざ・慣用句の使い方として、正しいものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。 解答番号

- a 彼は何をするかわからないので気が置けない。
- b 全国大会の壮行会で、監督が選手に檄を飛ばした。
- c 彼は弱い雨なら傘をささない破天荒な人です。
- d 考えが煮詰まり、なかなか結論が出せない。
- e 音信不通での久しぶりの帰省は、敷居が高い。

問二 次のことわざ・慣用句の には、それぞれ人の身体の一部が入るが、一つだけ、顔ではない部分を指す言葉が入る。それはどれか、当てはまるものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。 解答番号

- a を疑う。(意味：予想外のことに接し、信じられない。)
- b であしらう。(意味：まともに取り合わずに、冷淡に扱う。)
- c を借りる。(意味：自分より実力が上の者に相手をしてもらう。)
- d をそろえる。(意味：金額を不足なく用意する。)
- e をぬぐう。(意味：悪いことをしたり、知っていたりしても知らないふりをする。)

問三 次のそれぞれの文章の敬語や表現の使い方として、正しいものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。 解答番号

- a 会場の皆様、右の絵を拝見してください。
- b 父がコンサート会場にいらつしやいました。
- c 校長先生がお見えになりました。
- d お客様が参られましたので、茶をお出しします。
- e 貴社の会議には社長の山田が出席いたします。

問四 次のそれぞれの文章のうち、一つだけ丁寧語を用いた文章がある。それはどれか、当
てはまるものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。 解答番号

21

- a その件は、先日、先生に申し上げた。
- b 明日の夕方、先生の研究室に伺う予定です。
- c お祝いをいただきました。
- d ご質問を承りました。
- e 私が高木でございます。

余
白

余
白

余
白